

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	内田 正章 UCHIDA Masaaki
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
1.コンピュータやそれを利用した機器を適切なモラルと使用法の下で使用できる。 2.コンピュータ社会における利便性と弊害について説明することが出来る。 3.オフィスツールを正しく利用できる。 4.コンピュータの要素や情報の表現方法の違いによる特徴を説明し、簡単な計算を行える。 5.簡単な問題を解決するための手順をコンピュータによって指定し、処理することが出来る。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	ガイダンス、総合情報センター利用案内				
第2回	インターネットの利用法	ネットにおけるコミュニケーションとマナー(電子メール、SNSによる情報の発信と受信)				
第3回		個人情報と知的財産(Webによる情報の受信・情報の整理)				
第4回		情報と情報社会/個人情報と知的財産/情報社会における生活/メール転送設定				
第5回		情報セキュリティとネット被害				
第6回		情報セキュリティとネット被害				
第7回	復習	模擬試験				
第8回	前期中間試験	前期中間試験				
第9回	オフィスソフトの利用法	試験返却/スプレッドシート				
第10回		スプレッドシート				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		ワードプロセッサ				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		プレゼンテーション				
第15回	復習	模擬試験				
	前期末試験					
第16回		試験返却/プレゼンテーション発表				
第17回	コンピュータの仕組み	コンピュータの要素				
第18回		コンピュータの要素				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報のデジタル表現				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		情報ネットワーク				
第23回	復習	模擬試験				
第24回	後期中間試験					
第25回	コンピュータを利用した問題解決	試験返却/コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回	復習	模擬試験				
	後期末試験					
第32回	アンケート他	試験返却/アンケート				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	内田 正章 UCHIDA Masaaki
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
1.コンピュータやそれを利用した機器を適切なモラルと使用法の下で使用できる。 2.コンピュータ社会における利便性と弊害について説明することが出来る。 3.オフィスツールを正しく利用できる。 4.コンピュータの要素や情報の表現方法の違いによる特徴を説明し、簡単な計算を行える。 5.簡単な問題を解決するための手順をコンピュータによって指定し、処理することが出来る。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	ガイダンス、総合情報センター利用案内				
第2回	インターネットの利用法	ネットにおけるコミュニケーションとマナー(電子メール、SNSによる情報の発信と受信)				
第3回		個人情報と知的財産(Webによる情報の受信・情報の整理)				
第4回		情報と情報社会/個人情報と知的財産/情報社会における生活/メール転送設定				
第5回		情報セキュリティとネット被害				
第6回		情報セキュリティとネット被害				
第7回	復習	模擬試験				
第8回	前期中間試験	前期中間試験				
第9回	オフィスソフトの利用法	試験返却/スプレッドシート				
第10回		スプレッドシート				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		ワードプロセッサ				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		プレゼンテーション				
第15回	復習	模擬試験				
	前期末試験					
第16回		試験返却/プレゼンテーション発表				
第17回	コンピュータの仕組み	コンピュータの要素				
第18回		コンピュータの要素				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報のデジタル表現				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		情報ネットワーク				
第23回	復習	模擬試験				
第24回	後期中間試験					
第25回	コンピュータを利用した問題解決	試験返却/コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回	復習	模擬試験				
	後期末試験					
第32回	アンケート他	試験返却/アンケート				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	望月 孔二 MOCHIZUKI Kouji
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要 コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)			目標	説明		
		○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度		
			2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力		
			3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力		
			4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力		
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)		実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標 1.コンピュータやそれを利用した機器を適切なモラルと使用法の下で使用できる。 2.コンピュータ社会における利便性と弊害について説明することが出来る。 3.オフィスツールを正しく利用できる。 4.コンピュータの要素や情報の表現方法の違いによる特徴を説明し、簡単な計算を行える。 5.簡単な問題を解決するための手順をコンピュータによって指定し、処理することが出来る。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	ガイダンス、総合情報センター利用案内				
第2回	インターネットの利用法	ネットにおけるコミュニケーションとマナー(電子メール、SNSによる情報の発信と受信)				
第3回		個人情報と知的財産(Webによる情報の受信・情報の整理)				
第4回		情報と情報社会/個人情報と知的財産/情報社会における生活/メール転送設定				
第5回		情報セキュリティとネット被害				
第6回		情報セキュリティとネット被害				
第7回	復習	模擬試験				
第8回	前期中間試験	前期中間試験				
第9回	オフィスソフトの利用法	試験返却/スプレッドシート				
第10回		スプレッドシート				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		ワードプロセッサ				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		プレゼンテーション				
第15回	復習	模擬試験				
	前期末試験					
第16回		試験返却/プレゼンテーション発表				
第17回	コンピュータの仕組み	コンピュータの要素				
第18回		コンピュータの要素				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報のデジタル表現				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		情報ネットワーク				
第23回	復習	模擬試験				
第24回	後期中間試験					
第25回	コンピュータを利用した問題解決	試験返却/コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回	復習	模擬試験				
	後期末試験					
第32回	アンケート他	試験返却/アンケート				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	竹内 一博 TAKEUCHI Kazuhiro
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
1.コンピュータやそれを利用した機器を適切なモラルと使用法の下で使用できる。 2.コンピュータ社会における利便性と弊害について説明することが出来る。 3.オフィスツールを正しく利用できる。 4.コンピュータの要素や情報の表現方法の違いによる特徴を説明し、簡単な計算を行える。 5.簡単な問題を解決するための手順をコンピュータによって指定し、処理することが出来る。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	ガイダンス、総合情報センター利用案内				
第2回	インターネットの利用法	ネットにおけるコミュニケーションとマナー(電子メール、SNSによる情報の発信と受信)				
第3回		個人情報と知的財産(Webによる情報の受信・情報の整理)				
第4回		情報と情報社会/個人情報と知的財産/情報社会における生活/メール転送設定				
第5回		情報セキュリティとネット被害				
第6回		情報セキュリティとネット被害				
第7回	復習	模擬試験				
第8回	前期中間試験	前期中間試験				
第9回	オフィスソフトの利用法	試験返却/スプレッドシート				
第10回		スプレッドシート				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		ワードプロセッサ				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		プレゼンテーション				
第15回	復習	模擬試験				
	前期末試験					
第16回		試験返却/プレゼンテーション発表				
第17回	コンピュータの仕組み	コンピュータの要素				
第18回		コンピュータの要素				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報のデジタル表現				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		情報ネットワーク				
第23回	復習	模擬試験				
第24回	後期中間試験					
第25回	コンピュータを利用した問題解決	試験返却/コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回	復習	模擬試験				
	後期末試験					
第32回	アンケート他	試験返却/アンケート				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					

1年	科目	情報処理基礎	講義	通年	担当	竹内 一博 TAKEUCHI Kazuhiro
全学科共通		Introduction to Information Processing	必修	2履修単位		
授業の概要						
コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際にルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
	○	1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
1.コンピュータやそれを利用した機器を適切なモラルと使用法の下で使用できる。 2.コンピュータ社会における利便性と弊害について説明することが出来る。 3.オフィスツールを正しく利用できる。 4.コンピュータの要素や情報の表現方法の違いによる特徴を説明し、簡単な計算を行える。 5.簡単な問題を解決するための手順をコンピュータによって指定し、処理することが出来る。						
授業計画						
第1回	ガイダンス	ガイダンス、総合情報センター利用案内				
第2回	インターネットの利用法	ネットにおけるコミュニケーションとマナー(電子メール、SNSによる情報の発信と受信)				
第3回		個人情報と知的財産(Webによる情報の受信・情報の整理)				
第4回		情報と情報社会/個人情報と知的財産/情報社会における生活/メール転送設定				
第5回		情報セキュリティとネット被害				
第6回		情報セキュリティとネット被害				
第7回	復習	模擬試験				
第8回	前期中間試験	前期中間試験				
第9回	オフィスソフトの利用法	試験返却/スプレッドシート				
第10回		スプレッドシート				
第11回		ワードプロセッサ				
第12回		ワードプロセッサ				
第13回		プレゼンテーション				
第14回		プレゼンテーション				
第15回	復習	模擬試験				
	前期末試験					
第16回		試験返却/プレゼンテーション発表				
第17回	コンピュータの仕組み	コンピュータの要素				
第18回		コンピュータの要素				
第19回		情報のデジタル表現				
第20回		情報のデジタル表現				
第21回		情報ネットワーク				
第22回		情報ネットワーク				
第23回	復習	模擬試験				
第24回	後期中間試験					
第25回	コンピュータを利用した問題解決	試験返却/コンピュータを利用した問題解決				
第26回		コンピュータを利用した問題解決				
第27回		コンピュータを利用した問題解決				
第28回		コンピュータを利用した問題解決				
第29回		コンピュータを利用した問題解決				
第30回		コンピュータを利用した問題解決				
第31回	復習	模擬試験				
	後期末試験					
第32回	アンケート他	試験返却/アンケート				
評価方法と基準	前期中間試験20%、前期中間演習5%、前期末試験15%、前期末演習10%、後期中間試験20%、後期中間演習5%、学年末試験15%、学年末演習10%の割合で評価するが、不適切なコンピュータの利用や利用に伴うモラルの欠如が見られた場合は不合格となることもある。また、授業態度や演習レポートの提出状況に応じて減点ないし不合格とすることもある。試験を欠席した場合は見込み点を原則とする。					
教科書等	インターネット社会を生きるための情報倫理 新課程版(実教出版) 情報セキュリティ読本 4訂版(実教出版)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					